

第65期 中間株主通信

2009年4月1日～2009年9月30日

2009 Interim  
Business Report

リバーエレクトック株式会社

証券コード 6666





# To Our Shareholders

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに第65期中間株主通信をお届けするにあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年のリーマン・ショックに端を発する世界的な経済失速の影響を受けて、雇用情勢の悪化や企業収益の大幅な減少が続いておりますが、各国の経済政策による下支えもあり、最悪期を脱して緩やかに回復するという兆しは見え始めました。しかし、先行き不透明感もあり、本格的な景気の回復までには時間を要するものと思われま

す。水晶製品市場におきましては、1月を底として4月以降は携帯電話、デジタル機器、自動車関連向け等の需要が回復基調で推移しました。当社におきましては、依然として厳しい価格競争等により前年同期と比較すると低水準な状況ですが、受注は回復傾向にあり、特に携帯電話向け製品が好調に推移しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は24億1千6百万円（前年同期比32.7%減）、営業損失は

4億9千万円（前年同期は4千7百万円の営業損失）、経常損失は4億7千4百万円（前年同期は2千9百万円の経常損失）、四半期純損失は4億1千4百万円（前年同期は2億4千2百万円の四半期純損失）という厳しい結果となりました。

当期の中間配当金につきましては、株主の皆様へ安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題の一つとしておりますが、当期の業績に鑑み、誠に遺憾ではありますが見送らせていただきます。

株主の皆様には誠に申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに、今後も中期経営計画に基づき「販売体制の強化」「生産体制の再構築」を強力に推し進め、早期の黒字回復を目指し経営努力をいたす所存でございます。なにとぞご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年12月

代表取締役社長 若尾富士男

## CONTENTS

1…株主の皆様へ  
5…連結財務諸表

2…財務ハイライト  
6…会社概要・株式の状況

3…営業の概況

4…トピックス



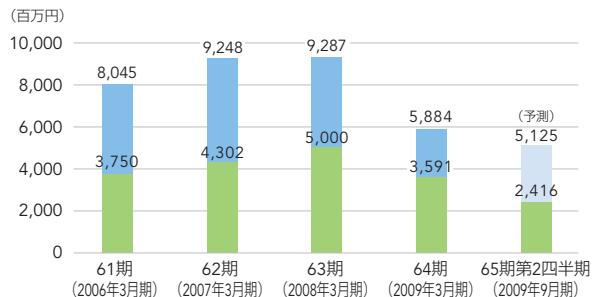


# Financial Highlights

財務ハイライト

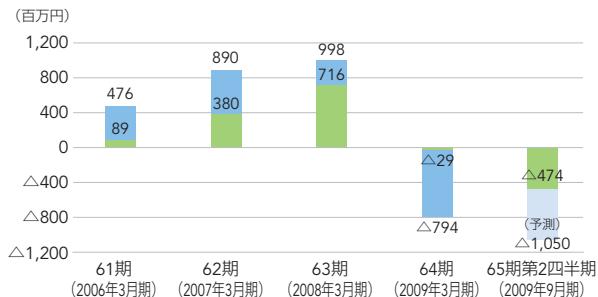
## 売上高

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間



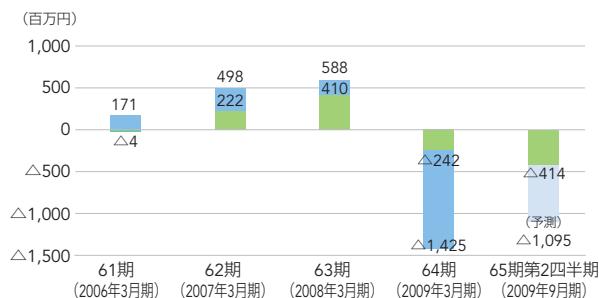
## 経常利益

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間



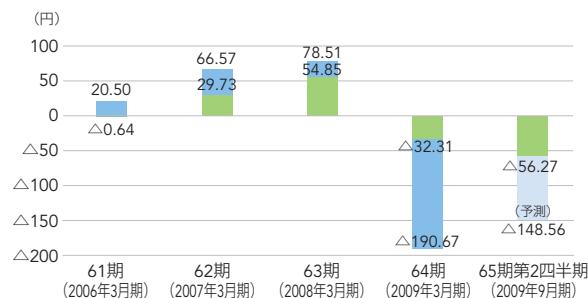
## 四半期(当期)純利益

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間



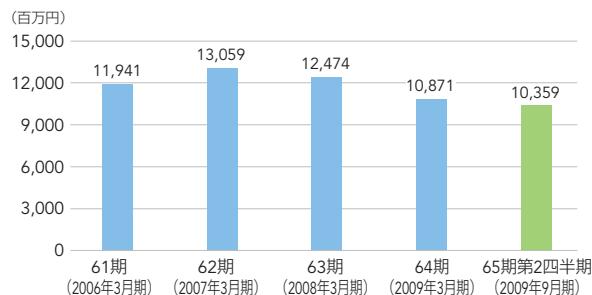
## 1株当たり四半期(当期)純利益

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間



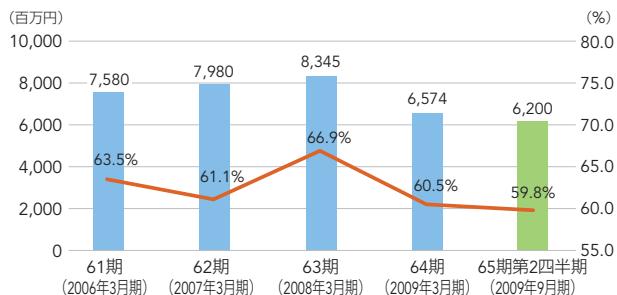
## 総資産

■ 通期 ■ 第2四半期



## 自己資本/自己資本比率

■ 通期 ■ 第2四半期 ■ 自己資本比率





# Business Overview

営業の概況

## 当第2四半期の概要（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策などにより、緩やかではありますが景気回復の兆候が見える一方で、雇用情勢の悪化と所得の減少を背景に個人消費を中心とした最終需要は引き続き低調であり、また急速な円高の進行も重なり、厳しい状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループの主力分野である水晶製品市場では、前第4四半期連結会計期間を底として受注が持ち直し傾向にあるものの、前年同期と比較すると依然として低水準な状況で推移いたしました。この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は24億1千6百万円（前年同期比32.7%減）になりました。また、利益につきましては、減収に対処するために引き続き、生産体制の最適化等による原価低減や労務費を中心とした固定費の継続的な

縮減に努めましたが、営業損失は4億9千万円（前年同期は4千7百万円の営業損失）、経常損失は4億7千4百万円（前年同期は2千9百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は4億1千4百万円（前年同期は2億4千2百万円の四半期純損失）となりました。

通期の見通しにつきましては、第3四半期が上記第2四半期の好調さを受けてスタートするものの、市況の先行きに不透明さを残している状況を勘案し、売上高は前回予想より3億8千2百万円増の51億2千5百万円、営業損失は4億3千8百万円改善の10億6千万円、経常損失は4億8千1百万円改善の10億5千万円、四半期純損失は6億1千3百万円改善の10億9千5百万円をそれぞれ見込んでおります。

## セグメント別営業の概要

水晶製品事業におきましては、携帯電話向けの販売が堅調に推移し前年同期を上回りましたが、無線モジュール向けは、価格競争が厳しく前年同期を下回っております。また、車載関連向けは、引き続き新車販売台数減少の影響により、キーレスエントリー、カーナビゲーション向けの販売が低迷し、売上高は前年同期を下回っております。以上の結果、当事業の売上高は22億8千万円（前年同期比31.4%減）となりました。

抵抗器事業におきましては、海外市場のみで事業展開しており、主としてAV機器や電源等に使用されております。当事業は、製品ラインナップの見直しやTV向けの販売が低迷したこと等により、売上高は4千8百万円（前年同期比63.1%減）となりました。

インダクタ事業におきましては、主としてAV機器や照明機器の分野に販売を展開しております。当事業は、AVチューナー向けの販売が低迷したこと等により、売上高は6千3百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

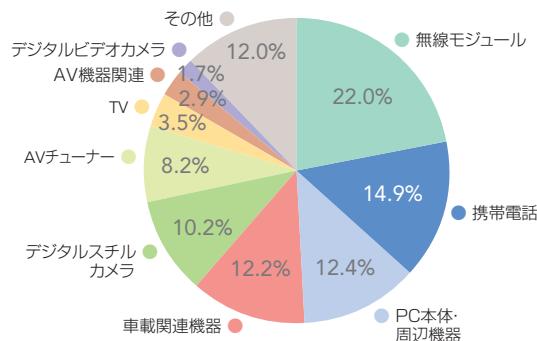
## セグメント別売上高・営業利益（連結）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益
水晶製品	2,280	△168
抵抗器	48	7
インダクタ	63	6
その他	24	7
全社又は消去	—	△343
合計	2,416	△490

（注）全社又は消去の主な内容は当社の管理部門に係る費用になります。

## 水晶製品用途別売上高構成（連結）



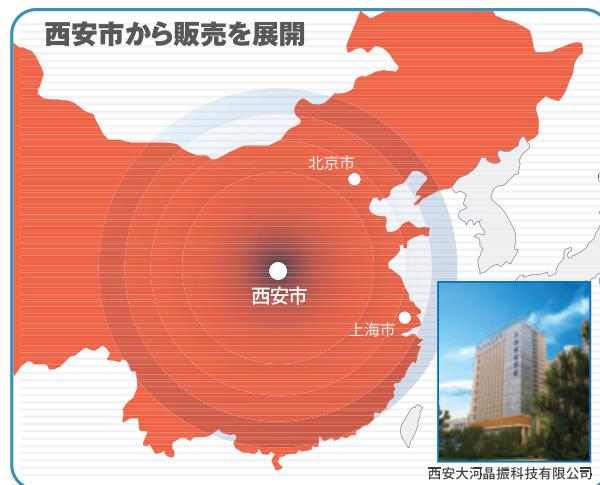
Topics  
1

## 販売チャネルの確立と営業の強化を進めるため、中国に販売子会社を設立しました。

リバーエレクトック株式会社は、市場構造に対応した販売チャネルの再編と営業力の強化を進める中で、中国中西部最大の都市である西安市に当社100%出資の販売子会社「西安大河晶振科技有限公司」を設立しました。

人口13億超を有する中国は、政府の経済政策や経済の発展に伴う内需の拡大により堅調な経済成長が見込まれています。また、近年世界の電子機器メーカーが、部品調達・組み立て等の工程を、台湾、中国などの受託製造サービス企業（EMS：Electronics Manufacturing Services）に委託するようになった結果、これまで国内生産されていた最先端のモバイル機器などもEMSにて生産されるようになり、これらへの対応が欠かせません。

今後も海外市場で、当社が世界に誇る「小型」製品の市場開拓を進めるとともに、「顧客満足」を的確に捉えたサービスを提供し、リバーグループの更なる成長を目指します。



Topics  
2

## 生産コストのさらなる改善を図るため、生産体制の再編を実施しました。

水晶製品事業におけるコスト競争力と収益力を獲得するために、青森リバーテクノ株式会社（青森県青森市）で生産を行っていた小型水晶振動子の一部を、海外生産拠点のRiver Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.（マレーシアイポー）に移管し、8月から生産を開始しました。また今後の生産能力の拡大を始めとする事業強化及び水晶製品事業の急激な環境変化に対応できる体制を整える必要性から、7月に全額引き受けによる増資を、9月には株式の追加取得により100%子会社化しました。これにより経営の機動性を高め、リバーグループの収益力の向上を図ってまいります。





# Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期 (2008年9月30日現在)	当第2四半期 (2009年9月30日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	5,424,253	4,227,740	4,503,618
現金及び預金	1,794,279	1,791,654	2,278,613
受取手形及び売掛金	2,315,919	1,552,651	1,074,610
たな卸資産	962,711	774,277	861,974
その他	354,769	111,467	290,531
貸倒引当金	△3,426	△2,308	△2,110
<b>固定資産</b>	7,024,448	6,132,007	6,367,812
<b>有形固定資産</b>	6,673,644	5,813,495	6,037,895
建物及び構築物	1,416,609	1,236,080	1,247,250
機械装置及び運搬具	4,175,569	3,603,910	3,913,459
土地	472,026	472,026	472,026
その他	609,439	501,477	405,159
無形固定資産	31,817	25,957	28,774
投資その他の資産	318,985	292,554	301,141
<b>資産合計</b>	12,448,701	10,359,748	10,871,430
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	3,047,019	2,596,974	2,206,176
支払手形及び買掛金	927,693	835,426	501,840
短期有利子負債	1,167,994	1,241,174	1,202,596
その他	951,331	520,373	501,740
<b>固定負債</b>	1,153,733	1,515,018	1,864,750
長期有利子負債	911,572	1,310,512	1,617,542
退職給付引当金	103,442	100,700	104,030
役員退職慰労引当金	132,600	101,090	140,100
その他	6,118	2,715	3,078
<b>負債合計</b>	4,200,753	4,111,992	4,070,927
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	8,144,422	6,512,968	6,921,473
資本金	1,070,520	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810	957,810
利益剰余金	6,117,052	4,502,398	4,910,903
自己株式	△959	△17,759	△17,759
<b>評価・換算差額等</b>	△187,502	△312,762	△346,889
その他有価証券評価差額金	△8,562	△23,989	△35,254
為替換算調整勘定	△178,940	△288,773	△311,634
少数株主持分	291,028	47,549	225,919
<b>純資産合計</b>	8,247,948	6,247,755	6,800,503
<b>負債純資産合計</b>	12,448,701	10,359,748	10,871,430

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期(累計) 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	3,591,713	2,416,127	5,884,751
売上原価	2,877,797	2,308,287	5,307,460
売上総利益	713,915	107,839	577,290
販売費及び一般管理費	761,180	598,648	1,372,459
営業損失	47,264	490,809	795,168
営業外収益	33,086	45,821	41,129
営業外費用	15,377	29,776	40,881
経常損失	29,555	474,764	794,920
特別利益	61	60,738	1,651
特別損失	130,882	587	397,292
税金等調整前四半期(当期)純損失	160,377	414,613	1,190,561
法人税、住民税及び事業税	66,960	5,222	27,200
法人税等調整額	52,650	△459	243,984
少数株主利益	△37,898	△4,561	△35,982
四半期(当期)純損失	242,089	414,816	1,425,763

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前第2四半期(累計) 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,405	92,872	560,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499,615	△260,554	△1,030,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	657,407	△268,845	1,348,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,972	19,130	△116,603
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	289,225	△417,397	762,098
現金及び現金同等物の期首残高	987,369	1,749,468	987,369
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,276,595	1,332,071	1,749,468

1  
POINT

### 売上高

携帯電話向け製品の受注調整など一部明るい兆しも見られましたが、新車販売台数の低迷に伴う車載関連向け製品の受注低迷や価格競争などから前年同期比32.7%の減収となりました。

2  
POINT

### フリーキャッシュ・フロー(営業CF+投資CF)

前年同期に比べ1億6千7百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期純損失を計上したものの、設備投資等の投資活動を大幅に抑えたことが主要因となっています。



# Corporate Profile & Stock Information

会社概要・株式の状況

## 会社概要

(2009年9月30日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	115名		
役員	代表取締役社長	若尾 富士男	
	専務取締役	岩下 功	
	取締役	三枝 康孝	
	取締役	高保 譲治	
	取締役	萩原 義久	
	常勤監査役	古屋 延行	
	社外監査役	越智 大藏	
	社外監査役	丸山 正和	
事業所			
本社	〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号		
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号		
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F		
名古屋営業所	〒465-0043 愛知県名古屋市中東区宝ヶ丘292番地 藤佳ビル2F		
宇都宮営業所	〒320-0057 栃木県宇都宮市中戸祭1丁目13番27号		

## リバーグループ(子会社の状況)

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 24,000	60	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリンギット 25,400	100	電子部品の製造

## 株式の状況

(2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,058株を含む)

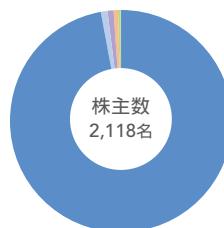
株主数 2,118名  
(前期末比52名減)

### 大株主

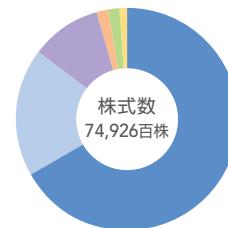
株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
竹田和平	3,200	4.34
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
リバー従業員持株会	1,785	2.42
若尾磯男	1,651	2.24
若尾富士男	1,616	2.19
株式会社みずほ銀行	1,500	2.03
持原和則	1,300	1.76
若尾亘	1,281	1.74
株式会社商工組合中央金庫	1,200	1.63

(注) 当社は自己株式1,210百株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率についても、当該株式数を控除して計算しています。

### 所有者別株主数分布状況



### 所有者別株式数分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に定めることがあります。		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	0120-176-417 (フリーダイヤル)		
ホームページURL	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>		
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載 <a href="http://www.river-ele.co.jp/">http://www.river-ele.co.jp/</a> ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所		
証券・銘柄コード	6666		

### 株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式		特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元未満株式の買取請求</li> <li>●届出住所・姓名などのご変更</li> <li>●配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	口座を開設されている 証券会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元未満株式の買取請求</li> <li>●特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>●届出住所・姓名などのご変更</li> <li>●配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	特別口座の 口座管理 機関  住友信託銀行 株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿 管理人  住友信託銀行 株式会社 証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿 管理人  証券代行部